



## 本物体験から学ぶ

校長 矢崎 真理

11月は、外部講師においでいただき、ご指導いただく機会が複数ありました。コロナは第8波も心配される状況になってきましたが、そのような中でも、感染対策をしながら、本物体験を重ねました。

17日(木)には、10月の学校だよりでお伝えしたことが実現し、生麦中学ブロック校として、青柳選手の地元であるということから、上寺尾小学校とともに岸谷小学校に阪神タイガース投手の青柳晃洋選手においでいただき、全校児童との歓迎集会、5・6年生との交流会を行いました。今年度の投手部門3冠という偉業をなした選手であるので、マスコミも7社が来校し、翌日の新聞等で大きく取り上げられました。

全校集会において、図書委員長に今年度の推薦図書「夢をかなえるゾウ」と図書カードをいただきました。今季最多の13勝だったので、130万円相当(1勝につき10万円)を鶴見区の小学校22校と、市立保育園4園にご寄付くださったため、図書室の「青柳選手コーナー」が、さらに充実します。青柳選手にも岸谷小学校の図書室の様子、コーナーを実際に見ていただき、喜んでいただきました。

同じ中学校ブロック(生麦中学校ブロック4校:生麦中学校、寺尾小学校、生麦小学校、岸谷小学校)の地元から、青柳選手のような一流の選手が輩出されたことのご縁をありがたく思うとともに、

- ★「小学校5年生から野球を始めた。」→(自分たちと同じ頃と聞いた5・6年生の高学年の子どもたちからどよめきがありました。まだ自分たちもこれからだ!と思った子どもも多くいたことと思います。)
- ★「自分は、本を小学校時代は全く読まず、大人になって出会った本から学んだ。本を読む大切さを実感している。子どもたちには早くから本を読む習慣をつけてもらいたくて、プレゼントしている。嫌がらずに最初は1ページでもいいから、学ぶことがあるので、読んでほしい。」→(昨年度、今年度と本を寄贈してくださっているので、図書室の青柳選手コーナーの本を手取る子どもが増えることと思います。)
- ★「自分がうまくいかないことを環境のせいにはしないほしい。」→(小学生時代から貧しい単親家庭だったことや生麦中学野球部時代は3番手の控え投手だったことを率直におっしゃって、「困難な状況にあっても環境や、他の人・事のせいにするのは違う!」と、きっぱりとおっしゃいました。)
- ★「投手と捕手の信頼関係は、自分がそのサインで投げた球を打たれたなら、しょうがないと思えるキャッチャー、～相手が選んだことに対して自分が納得できる信頼関係が本当の信頼関係だと思う」→(野球に打ち込んでいる子どもの質問に対してとても分かりやすく大切な具体例を挙げてくださいました。)
- ★「自分の周りには素晴らしい選手、上手な人がたくさんいた。でも、自分のピークはまだまだ来ていないと考えるようにして、まだまだこれから伸びると信じて、努力を続けた。夢をもってチャレンジしてほしい。」→(寄贈本の「夢をかなえるゾウ」には、その願いも込められているのです。)

等々お話くださった全部は挙げきれませんが、珠玉と思う言葉が、お話の中にたくさん出てきて心に沁みました。さすがに、日本の誇る素晴らしい投手になった方の言葉は重みがあり、子どもたちだけでなく、わたくしたち大人も、たくさん感心させられ学ぶことの多かった貴重な機会をいただきました。

横浜の人は、地元なのでベ이스ターズを応援する人が多い傾向かもしれませんが、『青柳選手が登板される日は全力で応援したい!』となるくらい、その素晴らしい人間性を誰もが感じた日でした。

今号2ページから紹介されていることもありますが、8日(火)6年生租税教室、生麦中学校ブロック教職員一同で、本校体育館での人権研修会。14日(月)区役所防災担当をお迎えし、つるみっ子防災塾実施。18日(金)劇団四季こころの劇場「人間になりたがった猫」ミュージカル動画を体育館で鑑賞。21日(月)ラグビー訪問授業で横浜キャノンイーグルスコーチ来校。22日(火)2年生が横浜マリノスコーチにサッカートレーニングの授業。23日(水)「生麦de事件だ」に、金管クラブ、6年生有志、金管クラブOB中学生の参加。27日(日)本校職員も参加し、3年ぶりに地域防災訓練実施。などがありました。

さまざまな本物体験を積んで、岸谷小学校は学んでいます。感染症に負けず、がんばりたいです。



## ようこそ！青柳選手！



17日(木)に、阪神タイガースの投手、青柳晃洋選手が岸谷小学校に来校しました。青柳選手から岸谷小学校に本を寄贈し子ども達と交流をしてくださいました。1時間目は「青柳選手ようこそ集会」があり、本の寄贈式と児童とのキャッチボールがありました。2時間目は、高学年の児童に向けた「キャリア教育交流会」があり、代表児童の質問に丁寧に答えてくださいました。

子どもからの「挫折したときにどのように乗り越えたらいいか教えてください。」という質問に、青柳選手は、「自分が挫折したときは、今がダメでも自分はまだ『未完の利器』だと思って、やめてしまうことはしないで頑張った。」と話してくださいました。また、「ピッチャーとキャッチャーの信頼関係をどのようなものですか。」という質問には、日頃から信頼し合える関係づくりをして、お互いの失敗を一緒に背負えるような関係を作っていくことが大切。」と話してくださいました。青柳選手の言葉は、今後の子ども達の人生を支えるほど貴重なものでした。子ども達にとって、一生の思い出になることと思います。



## ラグビー小学校訪問事業

21日(月)に横浜キャノンイーグルスの選手との交流会がありました。選手たちからは、「夢中になることを見つけ、人に感謝をしながら楽しく頑張るって欲しい。努力が報われないときは、自分に何ができるかを考えてあらたな目標をもって頑張るって欲しい」という言葉をいただきました。選手の講演後、6年生児童とタグラグビーを行いました。タグラグビーの楽しさを味わいながら選手たちと楽しいひと時を過ごしました。



## 各学年の様子



### 【1年】 みんなで にこにこ あきあそび

子安台公園に行き、ドングリや落ち葉、木の実などたくさんの秋を見つけました。見つけた秋であきまつりを開きたいと子どもたちはやる気満々で、秋のものを使ったおもちゃやゲームを作っている真っ最中です。いきいきと活動する子どもたちの姿はキラキラ輝いています。これから素敵なあきまつりを子どもたちと作っていけるよう一緒に頑張ります。

### 【2年】 サツマイモ いっぱいとれたよ！

生活科の学習で育てたサツマイモが学年全部合わせて200個近く収穫できました。暑い夏からみんなで雑草を抜き、水やりをして大切に育ててきました。

とれたサツマイモは調理員さんをお願いし、「さつま汁」と「大学いも」にいただきました。給食室の掲示やお昼の放送でも紹介してもらい、みんな嬉しそうに、おいもをほおばっていました。



### 【3年】音楽会練習

今年度の音楽会も、近隣校との動画による音楽交流の形になりました。音楽室やふれあいルームで練習していたものを、本番と同じ体育館で行い始めました。歌には振り付けがあり、クラスごとに違う振り付けの部分では、つられないように頑張っています。合奏では、リコーダーと鉄琴、低音楽器等を使って、きれいなメロディーを奏でる練習を行い、本番に向けて熱の入った練習になっています。



### 【4年】未来につなごう「蛇も蚊も祭」

社会の学習で、地域に昔から伝わる行事に注目し学習をしました。生麦の町で昔から行われている「蛇も蚊も」について地域の方からお話ししていただき、実際に使われている道具も見せていただきました。地域の方に伺わないとわからなかったことばかりで、貴重な体験となりました。自分たちが大人になったときにもお祭りを残せるように、協力できればと思います。



### 【5年】総合的な学習の時間

5年生の総合的な学習の時間では、グループごとに考えた岸谷小学校の課題について、解決策を考えて取り組み、どのような変容があったか再度アンケートを取って調べるなどの活動をしています。学力や体力の向上、あいさつ、バルコニーの活用方法など様々な課題について取り組んでいます。写真は、瞬発力を向上させたいというグループの取り組みで、「二人鬼ごっこ」をしているところです。



### 【6年】久しぶりのつるみっ子防災塾開催

14日(月)に地域の方々や保護者の方々、区役所の防災担当の方々を招いて、つるみっ子防災塾を開催しました。防災に関するプレゼンテーションをした後、全員でチームに分かれて HUG 訓練を行いました。防災塾で身に付けた知識や技能を、災害時には地域の一人としてしっかりと役立てることができるようにして欲しいと思います。



### 【5組】なまごま まなぼう いざかみGO!

9日(水)から2日間、個別級合同宿泊学習で、他校の個別級と共に上郷で宿泊学習をしました。「なまごま まなぼう いざかみGO!」を本校のスローガンに掲げ、3校を代表してお楽しみ会の司会進行を担ったり、グループ活動を行ったりする中で、絆を深めることができました。共同で宿泊する経験を通じ、「自分でできること」を増やしました。



## 学校カウンセラー 教育相談のご案内



学校カウンセラーの加藤先生による教育相談を実施しております。相談を希望される方は、担当宮佐までご連絡ください。

12月 5日(月)

12月14日(水)

12月26日(月)



いずれも 8:45~17:00 までです。